

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4079400380
法人名	有限会社 YOU
事業所名	グループホーム 悠友
所在地	福岡県田川郡福智町神崎1098番地194 (電話) 0947-22-7888 (FAX) 0947-22-7666

評価機関名	特定非営利活動法人ヘルスアンドライツサポート うりずん		
所在地	福岡県直方市知古1丁目6番48号		
訪問調査日	平成20年1月19日	評価確定日	平成20年2月13日

【情報提供項目より】(平成20年 1 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 1 日		
ユニット数	2	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 9 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	10.7 人

(2) 建物概要

建物構造	木造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,500円	その他の経費(月額)	8,000円 (水道光熱費)	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	月額	30,000円		

(4) 利用者の概要(1 月 1 日現在)

登録人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名
要介護1	7	要介護2	4		
要介護3	6	要介護4	0		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 86.47 歳	最低	73 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	宇都宮医院 佐藤医院 アイ歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム悠友は眼前に壮大な福知山を望み、四季折々の豊かな自然が堪能できる高台の造成地にある平屋造り2ユニットのグループホームである。行政の福祉分野で永年勤務した管理者が運営理念に「明るく たのしく 末長く とともにいきいき過ごしましょう。」を掲げ、3年前に開所している。オゾン発生器の取り付けや床暖房等で住みやすい環境を整備したり、近隣の温泉センターの利用やホーム周囲の散歩、入居者の職歴を活かして個別的なケアを実践している。既往症のある入居者はかかりつけ医や協力医療機関受診で重症化を防止したり、重篤な状況の入居者について今後の対応を医療関係者、家族と話し合い、現在週2回、協力医療機関から看護師が訪問し健康管理を支援している。また、シルバー人材センターの派遣職員を雇用しているが、「職員の入居者への対応が丁寧でやさしい」から「ここで働くのが生きがい」と話す職員もおり、理念の実践が伺える。管理者は地域住民でもあり、入居者と地域行事である夏祭りや文化祭に参加したり、地域のグループホーム連絡会で合同のレクリエーション開催を提案したりしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価を踏まえ、感染症マニュアルを整備し手洗い・うがいの励行、危険物及び食品の衛生管理の徹底、預かり金出納は1ヶ月毎に家族の了承を得たり、水分補給チェック表を作成している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が外部評価を理解し、全職員で年1回自己評価に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議に関する方針に沿って、適切なメンバーで2ヶ月毎に開催している。ホーム行事や予定等の報告、前回の外部評価結果等を報告し、議事録を整備している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	入居者の暮らしぶりを記載した「悠友たより」を毎月家族に発行している。また、協力医療機関やかかりつけ医への受診や定期健康診断を支援し、入居者の心身状況に応じて家族に随時連絡している。入居時に金銭等の保管依頼書を取り交わし、入居者毎の金銭出納台帳を整備している。毎月領収書や利用料明細書を家族に送付している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域自治会に加入していないが、管理者が地域住民であるため、夏祭り等地域行事に参加したり、文化連盟に加入し入居者の作品を文化祭に出品している。また、運営推進会議のメンバーである老人クラブ会長を通じて地域にホーム主催の餅つきを案内している。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は各ユニットの共有空間に入居者や家族、職員等が見やすいように大きく掲示しているが、契約書・重要事項説明書に今回の法改正を踏まえた「地域との交流の下」の記載がない。	○	今回の法改正を理解しているので、契約書・重要事項説明書に「地域との交流の下」を謳っていただきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、職員は入居者と共に理念である「明るく楽しく末長くともにいいき過ごしましょう」を唱和している。介護計画に入居者同士の交流を位置づけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会に加入していないが、管理者が地域住民であるため、夏祭り等地域行事に参加したり、文化連盟に加入し入居者の作品を文化祭に出品している。また、運営推進会議のメンバーである老人クラブ会長を通じて地域にホーム主催の餅つきを案内している。	○	自治会加入でさらなる地域交流を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が外部評価を理解し、自己評価に取り組んでいる。前回の評価を踏まえ、感染症マニュアルを整備し手洗いうがいの励行、危険物及び食品の衛生管理の徹底、預かり金出納は1ヶ月毎に家族の了承を得たり、水分補給チェック表を作成している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に関する方針に沿って、適切なメンバーで2ヶ月毎に開催している。ホーム行事や予定等の報告、前回の外部評価結果等を報告し、議事録を整備している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が元行政職員であることから行政担当者と意見交換がしやすく、今後は地域のグループホーム合同の行事等についても相談する予定である。町立保育園の園児が来所し、入居者と交流している。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者と職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会をもち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれを活用できるように取り組んでいる。	管理者は地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を理解しているが、他の職員の研修参加やパンフレット等の整備がない。	○	認知症の特性をふまえて、入居者の財産や権利を擁護する地域福祉権利擁護事業や成年後見制度に関するパンフレット等を整備し、入居時及び随時入居者や家族への説明や記録の整備をお願いしたい。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の暮らしぶりを記載した「悠友だより」を毎月家族に発行している。また、協力医療機関やかかりつけ医への受診や定期健康診断を支援し、入居者の心身状況に応じて家族に随時連絡している。入居時に金銭等の保管依頼書を取り交わし、入居者毎に金銭出納台帳を整備している。毎月領収書や利用料明細書を家族に送付している。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホーム及び公的機関の苦情担当窓口を明記し、ホーム内にも掲示している。家族の意見等は訪問の際に伺っている。	○	家族の意見の表出の機会として意見箱の設置もお願いしたい。夏祭りは家族の参加が多く自由に意見交換ができるとのことなので、家族会の発足を期待します。
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は認知症の特性を十分に理解し、認知症高齢者が理解できることを入職の条件としている。職員の協力を得て、勤務調整を行い働きやすい職場づくりをしているので、開設以来職員の離職が少ない。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表及び管理者は職員の募集・採用にあたっては性別や年齢を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。	職員採用要件は、高齢者を敬う気持ちのあることで性別・年齢の制限はない。就業規則が整備され、雇用契約書を取り交わしている。地域のシルバー人材センターから派遣された69歳の非常勤職員は、「ホームで働くのが生きがい」と話している。ホームの傍に職員の休憩室を設け、生き生きと働ける環境づくりがある。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。	管理者は毎月の会議等で入居者の人権について話しているが、今後は行政主催の人権研修に職員が参加する予定である。運営規程に身体拘束防止を明記し、マニュアルを整備しているが、虐待防止の明記やマニュアルがない。	○	高齢者虐待防止マニュアルの作成や研修実施記録の整備が求められる。
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の研修参加を促したいと、研修案内ポスターを掲示し希望者の勤務調整をする意向はあるが、職員の段階に沿った年間研修計画がない。職員が参加した研修は伝達研修を実施している。職員の悩みは管理者が対応している。	○	職員の勤務年数に応じて実務者研修受講を予定しているとのことなので、職員の段階に応じた年間研修計画や研修実施記録の整備をお願いしたい。
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は地域のグループホーム連絡会に加入し、合同のレクリエーションを提案し、認知症や認知症ケアの向上に取り組んでいる。	○	運営者が元行政職員であることから、行政と連携しながら福知町グループホーム協議会の設立や同業者ネットワークづくりで相互訪問等の積極的な交流を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービスの利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	開設当初は体験入居から利用を開始した入居者もいたが、家族の切羽詰まった希望による入居が多く、家庭生活の延長で暮らせるように家族と連絡を密にとり、聞き取りを丁寧にすすめている。独居の場合は入居後の暮らしぶりや話題の中から情報を把握することもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者の得意分野で出番を作り、洗濯干しや洗濯物たたみ、食後の後片付けや清掃を一緒に行うことで、共に過ごし支え合う関係づくりをしている。職員は入居者の体験談等から学ぶことが多いと話している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の基本情報や意向を把握しているが、趣味、嗜好、職歴、生活歴等の記載が少ない。また、週間計画にケア内容を記載しているが、同じ内容で個性がない。	○	各入居者からアセスメントした趣味、嗜好、職歴、生活歴等を活かし、入居者ごとの生活リズムや流れに沿った週間計画の作成が求められる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画第1表に入居者や家族の介護に関する意向を記載している。担当学会議等で職員の気づきを話し合っているが、計画作成に活用されていない。	○	全職員で介護計画を作成しているので、会議録の整備をお願いしたい。職員の気づきを入居者がより良く暮らすためのサービス内容に活用できるように検討をお願いしたい。
19	39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に介護計画を見直し、入居者や家族の了承を得ている。入居者の心身状況等の変化は、職員には伝達ノートで申し送り、随時家族にも連絡し業務日誌等に記載しているが、現状に即した介護計画の作成までには至っていない。	○	入居者の心身の状況に応じて日々のケアを実践しているが、全職員が介護方針を共有するためにも現状に応じた介護計画の見直しをお願いしたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者や家族の状況に応じて協力医療機関やかかりつけ医の受診を支援し、重度化を防止している。一時帰宅を支援することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の希望する医療機関や協力医療機関受診に同行し、医療機関と情報交換をしている。処方された内服薬の作用・副作用、変更等の指示は申し送り帳で全職員に伝達している。また、緊急時は病状等を家族にFAX等で報告している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重要事項説明書に入居者が重度化した場合の介護について明記している。重篤になった入居者の今後の治療方針を医療関係者や家族と話し合い、現在週2回看護師が訪問し健康管理を支援している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	契約書に個人情報の保護や利用目的を明記しているが、ホーム内に掲示がない。各入居者のファイルは書棚に保管している。職員は入居者のプライバシーを尊重した穏やかな対応をしている。	○	個人情報の保護に関する規程や利用目的を明記した書面のホーム内の掲示が求められる。また、プライバシーに関する研修や研修実施記録の整備もお願いしたい。
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の意向を日ごろから把握し、入居者のペースに沿った食事等の支援や希望する理美容院の利用を支援している。また、各居室に洗面台が設置され、身だしなみや誇りを大切にした暮らしを支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の心身の状況や相性を配慮して食卓を分け、職員は味付けや食事の進み具合等を話題にしながら、同じ食卓で食事をしている。入居者の能力や職歴に応じて下膳やお膳・おしぼり置き拭きをお願いしている。運営者は全職員に入居者と同じ昼食を摂ってもらいたいと、職員の昼食代の半額を負担している。		
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入浴を支援したり、月2回近くの温泉センターに出掛けている。入居者間のトラブルを回避するために、入浴順番を決めている。入浴拒否には声掛けのタイミング等を工夫して対応しているので、ほぼ全入居者が入浴しているが、入浴できない場合は清拭や足浴で保清している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の意向に沿って、毎月2回ショッピングや近くの温泉センターに行っている。お膳拭きや床のモップかけ等、入居者の職歴を活かして役割や楽しみ事を支援している。共用空間に囲碁や将棋盤が置かれ、入居者同士で楽しんでいる。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年間行事計画での外出や入居者の意向に沿った温泉センターの利用、ホーム周辺の散歩等を支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が施錠の弊害を理解し、夜間以外は施錠していない。各居室やホールの引き戸に留め金はあるが、中側から開けることができる。職員は入居者の癖や行き先を把握しているが、事務所が玄関傍で入居者の動行が把握しやすく、訪問調査当日も外出傾向のある入居者に職員の適切な声かけやケアが行われていた。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常災害マニュアルや緊急連絡網を作成し、避難経路図を掲示している。地域消防団の指導で入居者と共に避難訓練を実施している。消火器を整備し、トイレトペーパーや紙オムツを備蓄しているが、飲料水や生活水の備蓄はない。	○	火災だけでなく地震・台風・水害・大雪等も想定した備蓄品の整備をお願いしたい。また、地元消防団だけでなく、警察にも理解や協力をお願いして、夜間の避難訓練も検討していただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者毎に食事・水分摂取量を把握し、入居者の既往症や咀嚼・嚥下状態に応じた食事摂取を支援している。嗜好等も把握しているが、基本情報やアセスメントシートへの記載がない。毎月2回体重を測定し、健康管理をしている。	○	一日のおおよその摂取カロリーや栄養バランスの把握をお願いしたい。また、把握した嗜好の記録もお願いしたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各ユニット毎に外部から玄関までスロープで手すりが付けられ、車いす等による移動が容易である。ユニット間に仕切りの戸があるが、合同のレクリエーション等の折ははずしている。隣のユニットで食事をする入居者もおり、入居者それぞれの定位置がある。食堂はキャスター付の座り心地の良い椅子が設置され、共用空間で寛ぐ入居者が多い。共用空間や廊下に空気清浄器を設置したり、床暖房にするなど快適な環境づくりをしている。広い廊下には入居者の書初めや作品が掲示され、ベンチ風の椅子も置かれている。入居者の顔が見えるオープンキッチンから料理を作る音や匂いが漂い、家庭的である。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は入り口に表札と花かざりの顔写真がかけられ、ホーム備え付けのクローゼットや洗面台、ベットを設置しているが、入居者の暮らし方や好みに応じて、フローリングに直接マットを敷くなどの工夫がある。掃きだしサッシのため明るい開放感のある居室で、箆箆等の馴染みの家具や日用品、仏壇等の持ち込みがあり、本人が過ごし易い居室づくりをしている。家族が宿泊できるスペースもある。		